

ひまわり通信

№3 平成20年6月17日

新潟市立東青山小学校

校長 斎川 英子

児童数 619人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp



思い出いっぱいの佐渡体験学習

先週の9日(月)10日(火)、6年生の宿泊体験学習が佐渡で繰りひろげられ、私も一緒に行ってきました。体いっぱい表現する子どもたちのたくさんの感動を目の当たりにし、改めて、実体験のすばらしさを感じた2日間でありました。そのうちのいくつかを紹介します。

まずは、相川技能伝承館でのコース別体験。粘土を手でこねたり、ろくろを使ったりする「焼き物作り」や、裂いた布を横糸代わりに織る「裂き織り」の体験活動が2時間たっぷり行われました。そこには、途中、休憩することなく集中して取り組む子どもたちの姿がありました。

ふと、建物の窓の外を見れば、自生のホタルブクロが、下向き加減に花を咲かせています。その花の様子は、子どもたちのひたむきな姿と重なります。

裂き織りを
ホタルブクロに
むかえられ



撮影 6 学年担任 秋山真琴教諭

次は、夜のホテルでのこと。

満天の星空の下、民謡ショー鑑賞と体験が行われました。はじめは、地元の民謡保存会の方々による佐渡の代表的な民謡の踊りの披露。「相川音頭」の番がきました。一節、二節の後、子どもたちの中から「ハイ、ハイ、ハイ、ハイ」と、自然に合いの手が生まれ、それが広がっていくのです。その声に一般客の方々も誘われて、一緒に「ハイッ、ハイ」が加わります。踊り手も、観客もみんな笑顔に包まれたひとときでした。

そして、一般客の一人が私に近づいて来られ、耳元でささやいたのです。「何てすてきな子どもたちでしょう。さわやかな旅の思い出ができました。ありがとうございました。」と。

子 等 が 音 頭 の ハ イ と
月 も 合 い の 手 に
相 川 の え む

見ず知らずの旅人をも感動させた子どもたちの行動でした。

最後にもう一つ。3000円のお小遣いでお土産を購入する場面でのこと。

家族のみんなに、弟や妹に、遠く離れて暮らしているおじいさんやおばあさんにと、お土産探しに一生懸命です。その中に、「縦割りグループの人たちにも買っていきたい。グループの人たちは喜んでくれるだろう。けれど他のグループの人はどう思うだろうか。」と悩んでいる子どもたちがいます。引率の先生の「下級生を思う気持ちが嬉しい。今回は、物ではなく気持ちをお土産話にして持って帰ろう。」の言葉に、どの子も納得したのです。